



リボーン
道後REBORNプロジェクト

時代を超えて愛され続けている道後温泉本館。平成31年1月に大切な宝を子や孫の世代に受け継ぐため保存修理工事に着手。「火の鳥」とコラボレーションし、「再生」をテーマにプロジェクションマッピングやオリジナルアニメーションなど、工事期間中ならではの魅力を発信する「道後REBORNプロジェクト」を進めています。



議場改修

平成29年、56年ぶりに本会議場を全面改修しました。大型ディスプレイの設置や床面クロスなどのリニューアルのほか傍聴席も改修し、新たな議場が誕生しました。



子規・漱石生誕150年記念事業実施

松山市出身の俳人・正岡子規と、東京都出身の文豪・夏目漱石、そして子規の顕彰に貢献した柳原極堂の3人の生誕150年を記念し、記念式典や記念行事を行いました。



第72回国民体育大会・
第17回全国障害者スポーツ大会開催

平成29年、昭和28年の四国4県での共同開催以来64年ぶりの国体は、初の単独開催で、本市では全国障害者スポーツ大会と合わせて、大会史上最多の32競技36種目を実施しました。



「花園町通り」リニューアル

平成29年、堀之内と松山市駅を結び、市内で最も広い道路幅の花園町通りは、無電柱化や道路空間の再配分で「歩いて暮らせるまち松山」の新たなシンボルロードとして生まれ変わりました。また、「平成29年度全建賞(都市部門)」、「2018年度グッドデザイン賞」、令和元年度「全国街路事業コンクール国土交通大臣賞」を受賞しました。



あすかのゆ
道後温泉別館 飛鳥乃湯泉オープン

平成29年、道後に市営では33年ぶりに新温泉施設「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」が完成しました。外観は飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋をイメージ。正面入口の銘板の書は法隆寺の大野玄妙管長に揮毫(きごう)いただいたほか、館内は、道後温泉にまつわる物語を「愛媛の伝統工芸」と「最先端のアート」をコラボレーションした作品で演出し、「温泉の癒し」と「感性の刺激」を楽しめます。2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。



松山市・フライブルク市姉妹都市提携30年

令和元年7月9日～14日、姉妹都市提携30周年を記念し、野志市長らが、フライブルク市を訪問し歓迎式典に参加したほか、エコステーションなどを視察しました。両市の絆はさらに深まり、引き続き環境分野を中心に、文化や青少年交流など幅広い分野で交流を深めます。



「エコ次亜事業」が環境大臣表彰を受賞

横谷理立センターの埋立場から浸出してくる水に含まれる塩から「エコ次亜」と呼ばれる消毒剤を生成し、西部浄化センターで処理水の消毒に使用しています。令和元年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞しました。



道後オンセナート2018

平成30年、アートの大祭「道後オンセナート2018」が4月にグランドオープン。昼も夜も楽しめる「まち巡り」と、長期開催が特長。「オマージュ(賛歌)」をキーワードに、25組のアーティストが道後のまちを彩りました。



第1回議会報告会

「信頼される議会」を目指し、平成28年から議会報告会を開催。市民の皆様にも市議会の活動を広く情報提供するとともに、市政についてのご意見やご要望をお聞かしています。



「ふるさと松山学」新刊完成

子どもたちのふるさとへの愛着や誇りを育むため、松山ゆかりの先人などの話が詰まった「語り継ぎたい ふるさと松山 百話」全7冊を1冊にまとめた「広がれふるさと松山の心」が完成。平成30年10月1日に完成披露イベントを開催しました。



天守入場者数は平成27年度から
4年連続50万人突破

松山の中心に位置する標高132メートルの勝山に本丸を構える松山城は、日本有数の「連立式天守」で、貴重な「現存12天守」のうちの1つ。天守をはじめ21の建造物が重要文化財に指定されています。天守入場者数は平成27年度から4年連続50万人突破、平成30(2018)年に「旅好きが選ぶ!日本の城ランキング2018」で3位を受賞しました。